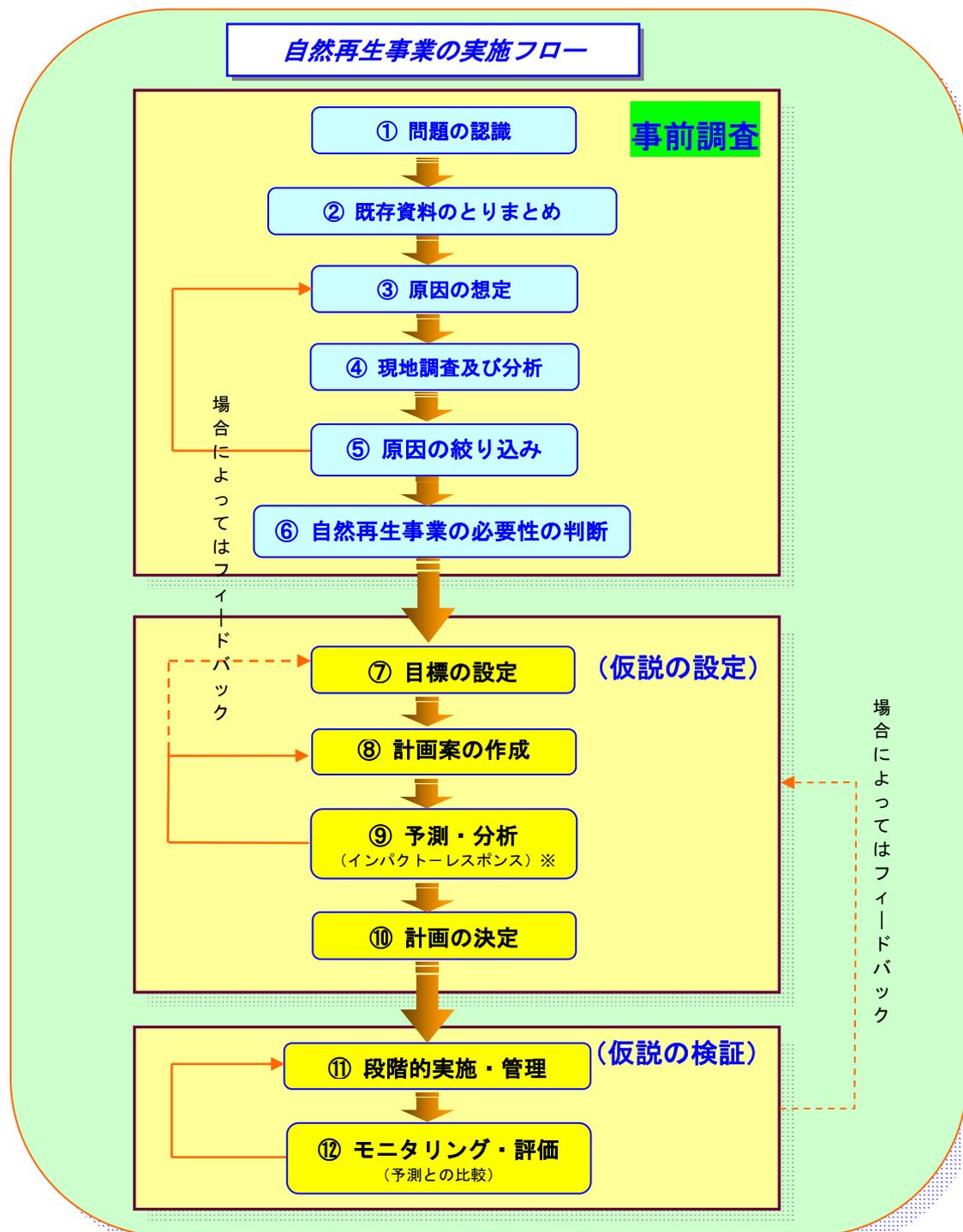




自然再生事業の実施フロー

自然再生事業は、概ね下記のような実施のためのフローにより進めます。「①問題の認識」から「⑤原因の絞り込み」までは、河川環境の現状の把握を行い、自然再生事業が必要かどうかを検討する事前調査になります。「⑦目標の設定」以降は、自然再生事業を段階的・順応的に進めるためのプロセスを示したものです。これらは、自然再生を効果的に進め、成功に結びつける上では重要な過程です。次ページ以降に問題の認識からモニタリング・評価までの各段階についてポイントを記述します。



※インパクトレスポンスとは、人為による影響をインパクト、そこから河川環境がどのように応答するかをレスポンスと定義し、河川事業の実施に伴うインパクトとレスポンスの関係を明らかにすることにより確立される予測手法を言います。